

平成24年行政事業レビューシート (環境省)

事業名		日本の自然を活かした地域活性化推進事業		担当部局庁	自然環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度		平成25年度		担当課室	総務課自然ふれあい推進室 国立公園課 自然環境整備担当参事官室		室長 堀上 勝 課長 桂川 裕樹 参事官 坂本 文雄		
会計区分		一般会計		施策名	5-2 自然環境の保全・再生 5-5 自然とのふれあいの推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)		自然公園法第10条第1項		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に、3行程)		国立公園等の自然観光資源を活かすことにより日本観光の高付加価値化に資することや、多様な主体との協働による、地域の強みを活かした質の高い国立公園サービスを提供し、地域の活性化に寄与することを目的とする。							
事業概要 (5行程程度以内。別添可)		事業の目的を達成するに当たり、多言語化したパンフレット等による情報提供システムの充実、サービスの質の向上、地域との協働の推進、ジオパークと国立公園の連携、エコツーリズムへの支援、地域の専門家を活用した課題解決、展望施設や情報提供施設等について国立公園の魅力向上のための統一的な施設整備などの取組を実施する。							
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
		予算の状況	当初予算	-	-	-	-	1,295	
			補正予算	-	-	-	-	-	
			繰越し等	-	-	-	-	-	
			計	-	-	-	-	1,295	
		執行額	-	-	-	-	-		
執行率(%)	-	-	-	-	-				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
		本事業は、国立公園等の自然観光資源を活かした日本観光の高付加価値化と、地域の強みを活かした質の高い国立公園サービスを提供することを目的としており、定量的な目標は設定できない。		成果実績	-	-	-	-	-
				達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
		魅力向上モデル地域数		活動実績 (当初見込み)	地域	-	-	-	-
		国立公園協働型管理運営体制強化事業の実施地域数			地域	(-)	(-)	(-)	(-)
		ジオパークと連携した地形・地質の保全・活用推進事業の実施地域数			地域	-	-	-	-
		エコツーリズムガイド養成事業			人数	(-)	(-)	(-)	(-)
		エコツーリズム推進アドバイザー派遣			回数	(-)	(-)	(-)	(-)
		エコツーリズム地域活性化支援事業			地域	(-)	(-)	(-)	(-)
		国立公園魅力向上施設重点整備事業(公共)			地域	(-)	(-)	(-)	(-)
単位当たりコスト		-			(円/ )	算出根拠	-		
平成24・25年度予算内訳	費目		24年度当初予算	25年度当初予算	主な増減理由				
	職員旅費		-	3	入替要求による新規要求				
	環境保全調査費		-	302					
	生物多様性保全推進交付金		-	190					
	自然公園等事業費(公共)		-	800					
	計		-	1295					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業は、国内外の利用者ニーズに応える国際競争力のある魅力的な観光地域づくりに寄与するものであることから、国が実施すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	一般競争入札により支出先を選定することを原則としつつ、少額のものにあっては複数者から見積を取得し、最も安価な者を支出先として決定する等、競争性を確保した上で、適切な支出先を選定する。 また、交付金にあっては、交付額の上限を定め、受益者との負担関係を明確にする。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本事業は、環境省の所管である国立公園の保護及び利用の推進を図るためのものであることから、他省庁との重複はない。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業は国立公園の自然観光資源を活かすことにより日本観光の高付加価値化に資することや、多様な主体との協働による地域の強みを活かした質の高い国立公園サービスを提供し、地域の活性化に寄与するものである。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
-			-
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			-
補記			
			-
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	-